

童謡・唱歌でシニア時代を謳歌 ほほえみの和「陽だまりの会」



▲ 多摩区民祭コーラスの集い(2015)

6月5日、宮前平駅から徒歩8分の川崎愛児園内の交流スペースでコーラスの練習をしている、ほほえみの和「陽だまりの会」(以降は「同会」と略します)を訪ねました。毎月2~3回(火曜日の午後)の稽古日(活動日)を設け練習しています。

はじめに、ラジオ体操第一で体をほぐしてから発声練習です。4つパートに分かれた混声合唱では「これから楽しく歌いましょう」と歌いながら声を重ね合わせていました。

講師の先生から本格的な指導

歌唱指導の小川聖子先生とピアノ伴奏の河野順先生が毎回稽古日には熱心な指導をしています。「めだかの学校」の合唱では、お腹を



▲ 河野先生(左)と小川先生

使って音声を響かせることを大事にする指導をしていました。「ふるさとの四季」ではパートに分かれて練習した後、声を合わせていました。団員は先生に楽譜の意味を聞いたり、他のパートの声を熱心に聴いたりしていました。

ハーモニーから元気もらおう

同会は、宮前区文化協会の主催した童謡講座からスタート。自主グループとなって合唱団を結成して9年目を迎えます。同会の千葉浩三郎団長は、「子どもの頃に歌った童謡や唱歌を仲間と歌う楽しさや喜び、合唱のハーモニーから元気もらっている」と話します。



▲ 千葉浩三郎さん

老人施設の慰問や音楽祭等へ出演

2010(H22)年から、「宮前区文化協会主催文化祭」「J&S陽だまりコンサート」に参加、最近では、「多摩区民祭コーラスの集い」「プラチナ音楽祭」に参加しています。また、老人施設へ慰問をして、童謡や唱歌の素敵なコーラスを披露しています。昨年(2017)の12月には、川崎愛児園の子どもたちと、交流コンサートを行いました。

9月15日に開催する「プラチナ音楽祭2018」や中原区文化協会50周年(10月下旬)にも参加する予定で練習に励んでいます。

■ 問合せ 千葉浩三郎さん TEL 044-855-8951

年に40回以上のおはなし会 「ひよこの会」の取組

プラザ田島(教育文化会館田島分館・川崎図書館田島分館)の児童室では、子どもたちにおはなしのおもしろさ、本を読む楽しさをあじわってもらおうと、毎週水曜日15時~15時30分「おはなし会」を開催しています。おはなし会を担当するのは、「ひよこの会」(以降「同会」と略します)のみなさんです。

同会とプラザ田島の職員で毎週開催

同会は、プラザ田島が設立した1992(H4)年10月と同時期に発足し今年で26年目になります。おはなし会は、設立当時から同会会員とプラザ田島の職員が協働で毎週(年間約40回)開催しています。訪れた5月16日のおはなし



▲ パネルシアター

し会は、3冊の本の読み聞かせと手作りの手袋人形「ニワリとヒヨコ」、パネルシアター「お空の雲さん、見ていたら」で、手作りの温かさに触れました。この日は、毎月行っている定例会の日で、おはなし会等の当番の調整やおはなし会で読



▲ 和やかな雰囲気毎月一回の定例会

む本の相談をしています。

同会の活動は、プラザ田島でのおはなし会の他に、小学校のわくわくプラザ・支援級放課後デイサービス(毎月1回)やこども文化センター・プラザ田島まつり等でおはなし会をしています。

一緒に活動することが心地よい

同会代表の矢ノ下さんは「子どもと本をつなぐきっかけになれば」と話します。会員のみさんから「会は居心地がよく、みんなで楽しく活動できる」「孫に絵本を読んで聴かせたい」「他の方のおはなし会を聴くのが楽しい」「子どもと良質な時間を過ごしたい」また、課題としては、「会員の確保」「大勢の方に来てもらえる広報の工夫」が必要だと話します。

おはなし会へのご参加をおすすめします。

■ 問合せ 川崎図書館田島分館 TEL 044-333-9120